

# 普及情報

## 乳牛舎におけるサシバエストレス軽減対策の確立

### はじめに

近年、ハエの一種で吸血性の「サシバエ」が増える傾向にあり、大きな問題となっている。サシバエの吸血ストレスを受けた牛は、飼料摂取量が減少し、乳量や増体量が低下する。また牛が落ち着かず、搾乳作業が円滑にできないなどの問題も発生している。

2006年12月、兵庫県下でサシバエに悩む酪農家、関係団体、農業改良普及センター等の有志でプロジェクトチーム「The Fly Project」を立ち上げ、活動を続けている。今回はその中で、防虫ネットを用いたサシバエストレス軽減対策技術について紹介する。

### 実証技術の内容

防虫ネットの実証を行ったA農家（48頭牛床タイストール牛舎523㎡）は例年ハエの大量発生に悩まされていた。使用したネット資材は、2mm目合いの白色の防風ネットで、全壁面約285㎡に取り付けた。設置工事は2007年5月に行い、導入経費は施工費込みで約35万円であった。なお対照区は隣接する同構造のB農家とし、両牛舎とも20台の送風ファン（直径1m）により風速2m/秒以上の舎内送風を夏期間実施した。

### 成果

水稻発生子察用捕虫網でのすくい取り調査や牛に集るハエの数を調査した結果、大きな抑制効果（表）が確認された。実施農家の感想として、「牛が落ち着き、牛にも人にも快適な環境になった」と高評価であった。

全壁面をネットで覆うことによる牛舎内環境への影響が心配されたが、暑熱期間（8～10月）の気温、湿度ともに差はまったく見られなかった。

特に、サシバエの習性である、朝夕の吸血行動

の間に牛舎外の草むら等で休息し牛舎内外を往来する行動を遮断し、侵入を阻止できる効果は高い。また畜舎の外観も良くなり、蚊やカラスなどの侵入も防止できた。ただし、ほうき等によるネットの目詰まりの掃除が1週間に30分程度必要であった。

表 防虫ネットの効果

|      | 牛に集る<br>ハエ数(頭/回) | すくい取り5反復<br>サシバエ数(頭/回) | すくい取り5反復<br>イエバエ数(頭/回) |
|------|------------------|------------------------|------------------------|
| 実証農家 | 3.1              | 6.8                    | 12.8                   |
| 対照農家 | 13.7             | 43.2                   | 54.9                   |
| 抑制率% | ▲77.4%           | ▲84.3%                 | ▲76.7%                 |

\* 対照農家は隣接のB農家 \* 7～11月、計9回の調査平均数

### 今後の課題

まず基本は、牛舎周辺のサシバエ発生場所（糞や飼料が残る場所）の定期的な清掃が重要である。その上で、さらにサシバエ防除に効率的なネット施工方法（ネットの高さ、片面施工など）の検証を行い、低コスト技術の確立を図っていききたい。また周囲の草むら等の休息場所の排除、その休息場所での防除などのサシバエの習性を利用した対策技術の実証を行っていく。

永井 秀樹（加西農業改良普及センター）  
（問い合わせ先 電話：0790-47-1619）

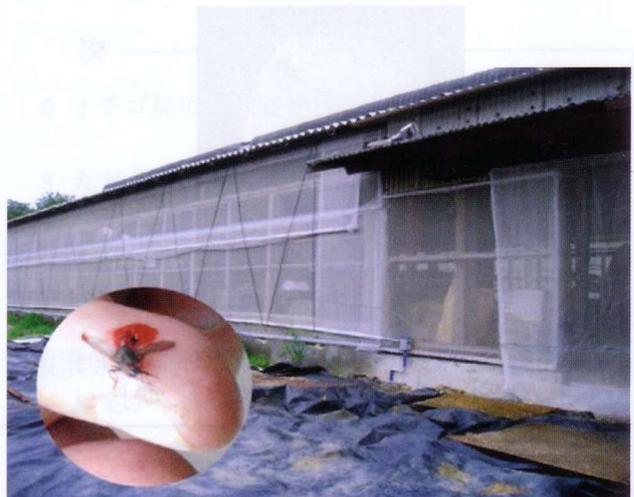


図 ネットを取り付けた実証農家とサシバエ